

民営化でどうなる？ 水道の安全・安心・危機管理

持続可能な水道をめざして



2015年3月の大阪市議会で、水道民営化条例案が否決。水道民営化はどのような理由で発案され、なぜ否決されたのか？

市民の大切なライフラインである大阪市の水道は、市の財政と市民が支払う水道料金により、発展してきた歴史のある市民の財産です。また、その技術力は高水準にあります。しかしながら、南海地震や直下型地震への対応、水道水源の監視・環境保全、水道管や浄水場などの老朽化施設の更新などの課題が山積しています。

経費削減のために、ライフラインの守り手であるはずの人員体制を縮小して大丈夫なのか？民営化されれば、利潤を生み出すことが最優先となりはしないのか？一日たりとも欠かせない命の水を供給する水道の民営化について、市民自らが真剣に考えるべき時がきています。

本シンポジウムでは、各分野からご報告いただくとともに、持続可能な水道のあり方についてご議論いただきます。

開催日時 2015年9月26日(土) 13:30~16:50 (受付開始 13:00)

会場 エルおおさか 6階 大会議室 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩300m

記念講演 「世界の水道民営化の背景と課題」 仲上 健一 氏

基調報告 「蛇口から水道水が出てくるまで」 事務局より

特別報告

- 水道民営化条例案は、なぜ否決されたのか
- 大阪市水道局の今
- 利用者から見た水道民営化・広域化
- 大阪市役所の解体・民間への売却プラン
- 水道事業における公共施設等運営権制度の活用について

- 岩崎 けんた 氏 (大阪市議会交通水道委員会委員長)
 - 中村 寿夫 氏 (NPO法人水政策研究所 理事長)
 - 飯田 秀男 氏 (全大阪消費者団体連絡会 事務局長)
 - 中山 直和 氏 (大阪市をよくする会 事務局次長)
- (大阪市水道局様と調整中)



仲上 健一 氏のプロフィール

立命館大学政策科学部教授、立命館アジア太平洋大学副学長等を経て、現在、立命館大学特任教授、東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構 客員教授、近畿水問題合同研究会理事長

終了後、交流会(会費3,000円程度)を予定していますので、こちらへもぜひご参加ください。



主催 近畿水問題合同研究会 後援 大阪自治体問題研究所
(事務局) 大阪市北区天神橋1-13-15 グリーン会館4階 大阪自治労連 公営企業評議会
TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 e-mail:s_suirou@yahoo.co.jp